

松元機工 株式会社

27年度補正

ものづくり
技術

事業計画名

側面加工機能付きCNC旋盤の導入により生産プロセスの効率化を目指す

<事業の背景>

工程内の生産能力のバラツキを減らし増産体制を構築する必要があった

当社が製造する茶園管理作業機、サトウキビ収穫機は、機械部品とフレームを並行して製造し、最後に両者を組立てる方式で、製品化するまでには4つの工程がある。中国の農機・建機の専門商社へサトウキビ収穫機の販売を開始したところ、継続的に複数台を納品して欲しいとの増産の要望を受けたが、その要望に応えるためには、ボトルネックとなっていた4つの工程における生産能力のバラツキを減らし、生産プロセスの効率化、増産体制を構築する必要があった。



当社製造のサトウキビ収穫機

こんな会社です

「もし機械があれば、より少ない人数でスピーディーに収穫できるのだが」が開発の始まり

昭和31年、「松元モータース」としてスタート。お茶やサトウキビ収穫用農業機械を製造、販売しています。創業者が、近所の茶農家の友人から「もし機械があれば、より少ない人数でスピーディーに収穫できるのだが」と相談を受けたのが茶摘機の開発の始まりです。以来、可搬式から乗用型へと開発を進め、さまざまな改良を重ね、常に農家の様々な声に耳を傾け新たな開発を行い、現在は、減農薬防除装置、無人化茶園管理機等を開発しています。今後もますます生産者が喜ぶ製品を提供することで、多様化するニーズに応え続けていくことが使命だと考えています。

代表取締役 松元 雄二

<事業内容と成果>

高性能なCNC旋盤導入で生産プロセスの効率化が図られ増産体制を構築した

機械部品加工で、一番手間と時間がかかる切削・研磨工程の段取り時間、加工時間を短縮するために、高性能な旋削加工を行う側面加工機能付きCNC旋盤を導入した。新たに導入した設備は側面加工が可能となるほか、プログラムの時間、工具の交換時間及び加工する部品をつかむ時間が大幅に短縮され、生産プロセスの効率化が図られた結果、増産体制を構築することができた。



側面加工機能付きCNC旋盤

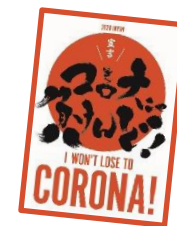
<現在の状況>

営業努力により新たな海外市場を開拓し、労働環境も改善された



加工製造する部品

生産プロセスの改善と相まって、継続的に売上げを伸ばすことができています。なお、コロナ禍の影響等により中国向けの商談は一旦白紙となったが、営業努力により新たにアフリカ市場を開拓し、茶園管理作業機の受注につながった。また、成果の一つである段取り時間の大幅な短縮は、従業員の時間外労働が削減されるなど、労働環境も改善された。



<今後の展開>

これからも農家の声を活かしながら新たな農業スタイルを提案していく

国内だけではなく、海外市場に向けて動力式茶園管理作業機、サトウキビ収穫機製造のパイオニアとして、積極的に使命を果たしていく。顧客である農家の労働力不足が進む中、新たな取組みとして当社の技術力と生産設備を活かした茶園用ロボット摘採機を開発した。農業もこれからは「操作」から「監視」で行えるよう、顧客である農家の声を活かしながら開発、製造、販売に向けて邁進していく。



当社開発のロボット摘採機

info

松元機工株式会社
代表取締役 松元 雄二

事業実施場所
〒 891-0702
鹿児島県南九州市穎娃町牧之内9325
TEL 0993-36-1161
FAX 0993-36-2829
<http://www.matsumotokiko.co.jp>

設立 昭和56年5月
資本金額 4,500万円
従業員数 90名
業 種 生産用機械器具製造業



社 屋